

中学校の部活動に部活動指導員を登用

○部活動振興費 941万9,250円

質疑 部活動への部活動指導員の登用はどのような状況か。また、どのような部活に登用されているのか。

答弁 令和4年度の実績は、7校に各校1人ずつで、7人登用した。また、登用した部活は、平田野中学校のバドミントン部、白子中学校の吹奏楽部、鼓ヶ浦中学校のバレーボール部、神戸中学校の卓球部、大木中学校のハンドボール部、千代崎中学校の柔道部、天栄中学校の卓球部である。

質疑 部活動指導員を登用することでどのような効果があったのか。

答弁 教員の勤務時間のうち、部活動にかける時間が軽減されている。



部活動指導員による部活動の様子

地域福祉分科会

議案第63号 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)



9月14日
(午前)



9月14日
(午後)

放課後児童クラブのICT環境を整備

○放課後児童対策費 813万5,000円

【概要】 放課後児童クラブのICT環境を整備することにより、放課後児童クラブ職員研修機会の充実と事務負担の軽減を図るもの。

質疑 ノートパソコンを購入する理由は。また、購入金額は妥当であるのか。

答弁 ノートパソコンを購入することにより、放課後児童クラブの職員がオンライン研修を実施できるようになる他、アプリを導入することにより、決算書の入力に関して、リモート操作で入力方法などを説明できるようになる。また、ノートパソコンの購入金額については、販売店に問い合わせ、最も安い金額で予算要求している。

質疑 ノートパソコンの更新方法は。また、放課後児童クラブにWi-Fi環境は整っているのか。

答弁 ノートパソコンの更新は、各放課後児童クラブで補助金を活用し、対応していただく予定である。また、数年前から連絡事項などはパソコンのメールで行っているため、大半の放課後児童クラブにはWi-Fi環境が整っているものと考えている。



放課後児童クラブの様子